2年	科目	UNIX入門	演習	前期	担当	小谷　進
電子制御工学科		Introduction to UNIX	必修	1履修単位		Susumu KOTANI

授業の概要

UNIX系OSは、ネットワークサーバやソフトウェア開発、科学技術計算プラットフォームの基本ソフト（オペレーティングシステム）として広く利用されている。最近では、個人利用のPC用OSとしても利用されている。
本科目では本学総合情報センターの提供するLinux環境を利用して、UNIX OSの基本的なコマンドによるファイル操作とUNIX上で動作する標準的なアプリケーションソフトウェアを利用できるようになることを目的とする。

本校学習・教育目標（本科のみ）		目標	説明
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
	○	3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢

プログラム学習・教育目標（プログラム対象科目のみ）	実践指針（プログラム対象科目のみ）	実践指針のレベル（プログラム対象科目のみ）

授業目標

UNIX OSの概要を理解し、基本的なコマンド群を利用できるようになる。
UNIXの基本的なコマンドによって、ファイルの操作ができるようになる。
UNIXの標準的なアプリケーションソフトウェアが利用できるようになる。

授業計画

第1回	ガイダンス、メールソフト	授業概要、成績評価方法についての説明、UNIXとWindowsの違い、メールソフトのセットアップ
第2回	ターミナル、ファイルの操作	ターミナルエミュレータを使って、コマンド入力を行うファイルの操作
第3回	ファイルシステム	ディレクトリの構造と操作
第4回	ファイルシステム	絶対パスと相対パス
第5回	入出力	標準入出力とリダイレクト、パイプ、ワイルドカード
第6回	保護モード	ファイル、ディレクトリの権限管理
第7回	エディタ	viエディタ
第8回	中間試験	
第9回	答案返却	中間試験の解説
第10回	グラフ作成	GnuPlotを使ってグラフの作成（データファイルからグラフ作成）
第11回	グラフ作成	GnuPlotを使ってグラフの作成（関数からのグラフ作成）
第12回	組版	TeXによる組版
第13回	ネットワーク	ネットワークで繋がれた他の計算機を遠隔操作(SSH, telnet)、ファイルの転送(sFTP, scp)
第14回	シェルスクリプト	コマンドを連続実行して複雑な処理を行う
第15回	おさらい	期末試験に向けてのおさらい
	期末試験	
第16回	答案返却	期末試験の解説

評価方法と基準	定期試験の成果を80%、課題を20%として評価する。
教科書等	教科書は指定しない。毎回の授業で授業内容に沿ったプリントを配布する。 参考　:Linux標準教科書(LPI-Japan発行) Web資料 UNIX利用講座(http://www2.denshi.numazu-ct.ac.jp/unix/)
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。